

SkyPDF[®] CA EDITION V5

ユーザーズガイド

ご注意

本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアについては、いかなる場合においても、スカイコム社の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、写真複写、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、保存、または転送を行うことができません。

本マニュアルに付随する著作権を保護されたソフトウェアは、エンドユーザにライセンスされますが、その使用は、エンドユーザライセンス契約書に厳密に従うものとします。

本マニュアルは、予告なしに変更される場合があります、スカイコム社による責務として解釈されることがあってはなりません。

スカイコム社は、本書における誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責任または補償を負うものではありません。

スカイコム社は、特定の目的に関する適合性、および本ソフトウェアの使用により第三者の権利を侵害しないことについて、いかなる保証もしません。

Microsoft、Windows、Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Acrobat、および記載されたアドビシステムズ社の製品名は、米国アドビシステムズ社の登録商標または商標です。

TrueType は、Apple Computer, Inc.の商標です。その他のブランドおよび商品名は、それらを所有する各社の商標または登録商標です。

SkyPDF CA EDITION/Professional は、スカイコム社が開発した製品です。

この製品は OpenSSL ツールキットを利用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアを含みます。

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

目次	3
必要なシステム環境	5
オンラインヘルプ	7
インストール	8
CA EDITION 簡易ガイド	9
PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）	13
PDF ファイルを作成する（ドラッグ&ドロップ）	15
PDF ファイルを作成する（右クリック）	16
PDF ファイルを作成する（ツールボタン）	17
しおりとリンク注釈付きの PDF ファイルを作成する	18
SkyPDF Pro の初期設定を変更する	20
タイムスタンプを PDF に付与する	22
アマノタイムスタンプ電子証明書インストール	22
制限・注意事項	26
取り扱い PDF ファイルについて	26
PDF ファイルの関連付けについて	26
ビューアの起動に関する事項	27
PDF の作成機能に関する事項	27
PDF の表示機能に関する事項	34
PDF の編集機能に関する事項	37
紙印刷(物理プリンターによる印刷)に関する事項	38
セキュリティ機能に関する事項	39

表のコピーに関する事項	39
ページのトリミングに関する事項	40
署名に関する事項	40
電子印鑑に関する事項	40
タイムスタンプに関する事項	41
Office 製品のアドイン表示に関する事項	42
SkyPDF Utility に関する事項	43

必要なシステム環境

SkyPDF CA EDITION をインストールするには、次のシステム環境が必要です。

OS	日本語 / 英語 / 中国語 (繁体字・簡体字) Microsoft®Windows®Vista (x86) Microsoft®Windows®7 (x86, x64) Microsoft®Windows®8/8.1 (x86, x64)
CPU	Pentium4 1GHz 以上 (利用する OS の推奨に基づく)
メモリ	512MB 以上 (利用する OS の推奨容量以上)
ディスク容量	200MB 以上

SkyPDF Pro Driver は、次のアプリケーションでの動作が確認されています。

- Microsoft Word 2007 / 2010 / 2013
- Microsoft Excel 2007 / 2010 / 2013
- Microsoft PowerPoint 2007 / 2010 / 2013
- Microsoft Internet Explorer 7.0 / 8.0 / 9.0 / 10 / 11 (利用する OS の推奨に基づく)
- Microsoft Visio 2007 / 2010 / 2013
- LibreOffice 3.5.4
- JUSTSYSTEM 一太郎 2012 / 2013 / 2014 (販売元サポート期間はそれぞれ2年間)

Office ツールボタン (別章“PDF ファイルを作成する (ツールボタン)”参照) は Office 2010 および 2013 の 64 ビットエディションでは使用できません。

これらのアプリケーション以外でも、印刷機能があるアプリケーションから PDF ファイルを作成できます。ただし、文書の内容やアプリケーションの種類によっては、正常に PDF ファイルを生成できない場合があります。

注意

アマノタイムスタンプおよびアマノタイムスタンプを使用するハイブリッド署名は、Windows 8.1 では動作保証外となります。

SkyPDF 変換ユーティリティ操作においては、次のアプリケーションからの正常動作が確認されています。

一括変換機能の対応 ファイル(拡張子)	Microsoft Office 2007 / 2010 / 2013 (Word、Excel、PowerPoint) =.doc、.xls、.ppt、.docx、.xlsx、.pptx Microsoft Visio 2007 / 2010 / 2013 =.vsd JUSTSYSTEM 一太郎 2012 / 2013 / 2014 =.jtd テキストファイル(拡張子は別途設定可)
画像	TIFF、BMP、JPG、JPEG、JPEG2000、GIF、PNG

本製品の各 OS およびアプリケーションについての動作保証期間は、それぞれの販売元サポート期間内となります。

注意

本製品は別製品 SkyPDF Professional をベースに構成しております。以下の操作画面において、仕様上、製品名表記が®SkyPDF Professional (2012 J) となっております。表記上の都合であり、SkyPDF CA EDITION V5 としての動作に問題はございません。あらかじめご了承ください。

インストール、アンインストール時の操作画面の製品名表記

OS のプログラム名表記

デスクトップアイコンの製品名表記

環境設定の関連付けタブの製品名表記

電子印鑑の各操作画面の製品名表記

オンラインヘルプ

SkyPDF Pro Driver では、画面上で PDF ファイル作成の操作をしながら、各画面の項目についての説明を確認していただけるように、オンラインヘルプを用意しています。SkyPDF Pro Driver の[バージョン情報]タブに用意されている[オンラインマニュアル]ボタンをクリックすると、SkyPDF Pro Driver のオンラインヘルプを表示することができます。

SkyPDF CA EDITION/Professional では、すべての機能について詳細に説明したオンラインヘルプを用意しています。

オンラインヘルプは、ツールバーの[ヘルプ]をクリックするか、[ヘルプ]メニューの[SkyPDF CAEDITION V5 ヘルプ]を選択して表示することができます。

本書に記載のない項目は各オンラインヘルプを参照してください。

インストール

インストール方法は、別紙『[SkyPDF2012 インストールガイド.pdf](#)』をご参照ください。

CA EDITION 簡易ガイド

PDF 作成から申請までの主な流れ

ここでは PDF 作成から CA EDITION による電子署名付与、署名した PDF の申請までの主な流れを簡潔に説明します。各操作の詳細な内容はそれぞれの項目に関する章を参照してください。
あらかじめ SkyPDF CA EDITION のインストールは完了しているものとします。

事前作業

同封の[導入に関する注意事項]を参照し、以下を必ず実施してください。

司法書士認証局発行の IC カード付属のソフトウェアのインストール(「IC カード SecurityKit アプリケーション操作マニュアル」を参照してください)

新しく IC カードリーダライタをパソコンに接続される場合のみ、IC カードリーダライタのドライバのインストール

認証局証明書のインストール(司法書士認証局のホームページの司法書士認証サービス内、証明書情報のページを参照してください)

新司法書士証明書(平成 24 年 1 月以降)の場合、[SECOM Passport for G-ID] 公的個人認証の場合住基カードの事前入手、および必要に応じて PC への設定

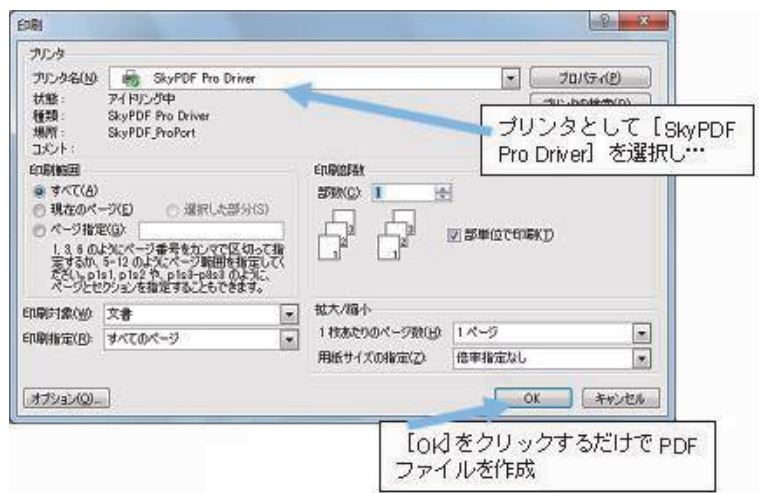
これらの事前作業が完了していない場合、署名付与を正しく行えないことがあります。

これらの事前作業に関するお問い合わせはご購入された販売店、日司連様および司法書士認証局様、SECOM、住基カードそれぞれの担当部門へお願いします。

SkyPDF Pro Driver で PDF 生成

ここでは、定款などを Microsoft Word などで作成し、PDF 化する場合の手順の一例を記載します。

1. Microsoft Word の[ファイル] - [印刷](Word2007 では Office ボタン押下メニューの[印刷]を選択)で、印刷するプリンタとして[SkyPDF Pro Driver]を選択し、印刷します。



2. PDF の保存先を指定するダイアログが表示されたら、保存先を指定します。
3. 保存したPDF がSkyPDF CA Edition にて自動で開き、表示します。

注意

上記はSkyPDF Pro Driver の印刷設定はインストール完了時からの初期設定の動作となります。この他にも様々な方法でPDF を作成することができます。本書の「PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）」以降やSkyPDF Pro Driver のオンラインヘルプを参照してください。

CA EDITION による電子署名

1. 電子署名するPDF をSkyPDF CA Edition（デスクトップアイコン=Professional）で表示します。



2. あらかじめ電子署名の環境設定をします。

ツールバーの[環境設定]をクリックするか、[ツール]メニューの[環境設定]を選択します。
[電子署名]タブをクリックします。

 The screenshot shows the "環境設定" (Environment Settings) dialog box with the "電子署名" (Electronic Signature) tab selected. The dialog has several sections:


- 作成 (Creation):**
 - 文書の署名に使用するデフォルトの方法 (Default method for signing documents): SKYCOM SECOM Passport for G-ID (通常フォルダ) (SKYCOM SECOM Passport for G-ID (Normal Folder)).
 - ☐ 不可視署名 (Invisible signature) and ☐ 常に使用する (Always use).
 - 署名に使用するデフォルトの証明書種別 (署名方法によっては無視されます) (Default certificate type for signing (may be ignored depending on the signing method)):
 - ☒ セルフサイン (Self-signing)
 - ☐ サードパーティ (Third party)
 - ☐ 住基/GPKI/LGPKI (J-KEY)
 - 使用する署名者 (Signer):
 - ☒ 証明書所有者名 (Certificate owner name)
 - ☐ 署名者 (Signer): [Text field]
 - 署名理由 (Reason): [Text field]
 - 署名場所 (Location): [Text field]
 - 証明書リストの表示 (Certificate list display):
 - ☐ 使用可能証明書のみ (Only usable certificates)
 - ☒ 有効期限内の証明書のみ (Only certificates within validity period)
 - ☐ すべて (All)
- 検証 (Verification):**
 - 失効状態検証 (Revocation status verification):
 - ☒ 検証する (Verify)
 - ☐ 検証しない (Do not verify)
 - PDFオープン時の署名検証 (Signature verification at PDF opening):
 - ☐ 検証する (Verify)
 - ☒ 検証しない (Do not verify)

 At the bottom are buttons for "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

3. [署名方法]を 新司法書士証明書(平成24年1月以降)の場合,[SKYCOM SECOM Passport for G-ID]または[SKYCOM SECOM Passport for G-ID(通常フォルダ)]に設定し,[常に使用する]にチェックします。

住基カードによる公的個人認証は[SKYCOM Standard Signature]に設定します。

この設定で次回より、自動で設定した署名方法で署名が可能となります。

4. ツールバーの[署名]アイコン  をクリックするか,[ツール]メニューの[署名]を選択します。

5. [署名方法]を 新司法書士証明書(平成24年1月以降)の場合,[SKYCOM SECOM Passport for G-ID]または[SKYCOM SECOM Passport for G-ID(通常フォルダ)]に設定し,[常に使用する]にチェックします。

住基カードによる公的個人認証は[SKYCOM Standard Signature]に設定します。

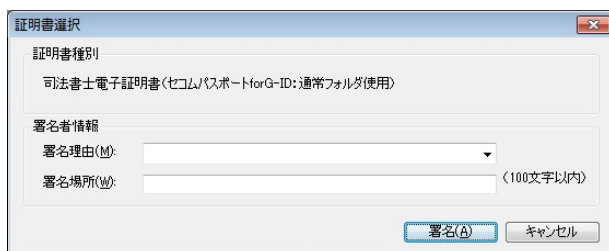
この設定で次回より、自動で設定した署名方法で署名が可能となります。



6. [OK]をクリックすると、十字カーソルが表示されますので、マウスで署名したい場所に範囲指定します。

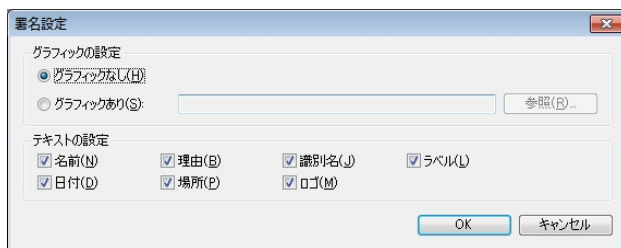
7. [証明書選択]ダイアログボックスが表示されたら、署名理由・署名場所(任意、省略可)を入力し,[署名]をクリックします。

司法書士関連の場合、証明書種別が「司法書士電子証明書」と表示されます。

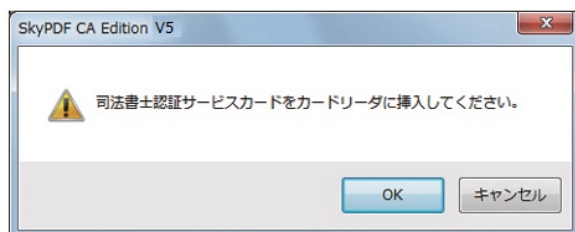


[証明書種別]ダイアログボックスで住基カードによる公的個人認証の電子署名を利用する場合は[住基カード]を選択します。

8. 「署名設定」画面が表示されたら、署名に表示する内容を設定し、「OK」ボタンをクリックします。



9. IC カード使用時は下記のダイアログに従い、司法書士認証サービスカードをカードリーダーに挿入します。



カードを挿入した後、「OK」ボタンをクリックすると署名が追加されます。
(IC カードもしくは証明書のパスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力します。)

電子署名付与した PDF の保存

電子署名付与が完了すると、PDF の保存先指定ダイアログが表示されますので、保存先やファイル名を指定します。

PDF に電子署名が下図のように署名位置を指定した場所に表示されます。



申請処理

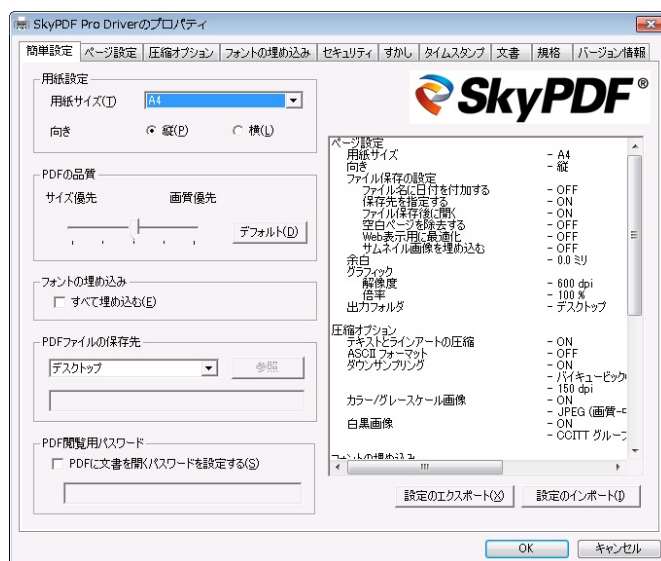
電子署名した PDF を申請処理する方法は、必要に応じ、法務省オンラインシステム、公証人等の申請手順を各部門のマニュアル等で確認してください。

PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）

SkyPDF Pro を使用して、アプリケーションから文書を印刷するときと同様の方法で、元の文書の PDF ファイルを作成することができます。

ここでは、Microsoft Word で PDF ファイルを作成する方法を例にして説明します。画面の項目名などは、元の文書を作成したアプリケーションによって異なる場合があります。

1. Microsoft Office (Word)文書を開き、[ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
2. 印刷のダイアログボックスが表示されたら、[プリント名] ボックスで [SkyPDF Pro Driver] を選択します。
3. 用紙やフォント埋め込み、セキュリティなどの設定を変更したい場合は、[プロパティ] をクリックし、SkyPDF Pro Driver のプロパティを表示します。
4. [SkyPDF Pro Driver のプロパティ] ダイアログボックスにある各タブで、作成する PDF ファイルに対してさまざまな設定をすることができます。



SkyPDF Pro のプロパティで設定できる機能の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

5. PDF ファイルの設定が終了したら、[SkyPDF Pro Driver のプロパティ] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

注意

アプリケーションの印刷機能から設定したSkyPDF Pro Driverのプロパティの設定内容は、いったんアプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。SkyPDF Pro Driverのプロパティの初期設定を変更することもできます。

6. 印刷のダイアログボックスに戻ったら、[OK] をクリックします。
7. [PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して [保存] をクリックします。

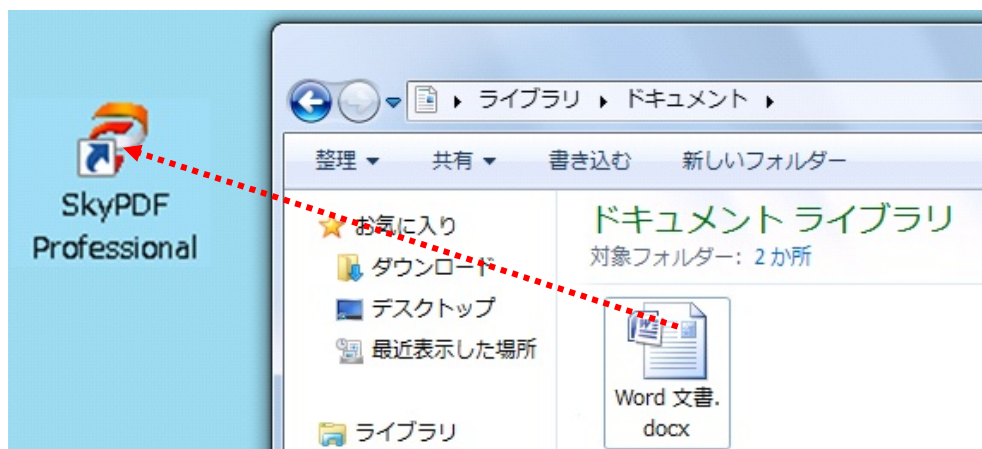
注意

SkyPDF Pro で作成される PDF ファイルは、PDF1.6 に準拠しています。作成した PDF ファイルを開くには、PDF1.6 に対応した PDF ビューアが必要です。

PDF ファイルを作成する（ドラッグ&ドロップ）

デスクトップ上の「SkyPDF Professional」ショートカットアイコンを利用して PDF ファイルを作成することができます。

1. PDF ファイルを生成したい対象元ファイルをデスクトップ上の「SkyPDF Professional」アイコンにドラッグ&ドロップします。



【ドラッグ&ドロップ】＝マウスで選択ボタンを押しながらファイルアイコンを移動

自動的に、拡張子に関連付けられたアプリケーションが起動され PDF ファイルの生成が実行されます。

2. [PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して[保存]をクリックします。

注意

アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF ファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、アプリケーションの印刷コマンドで、PDF ファイルを生成してください。

PDF ファイルを作成する（右クリック）

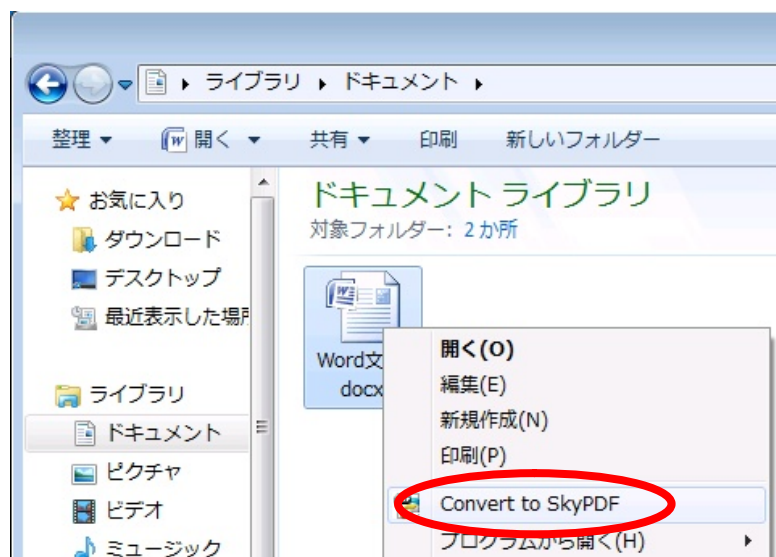
ファイルを右クリックして表示されるメニューから PDF を生成することができます。

【メモ】

別途設定が必要です。詳細については「SkyPDF Pro Driver の設定」を参照してください。

1. PDF ファイル生成したい対象元ファイルを右クリックし、コンテキストメニューに表示される、「Convert to SkyPDF」コマンドを選択します。

自動的に、拡張子に関連付けられたアプリケーションが起動され PDF ファイルの生成が実行されます。



2. PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して[保存]をクリックします。

注意

アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF ファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、アプリケーションの印刷コマンドで、PDF ファイルを生成してください。

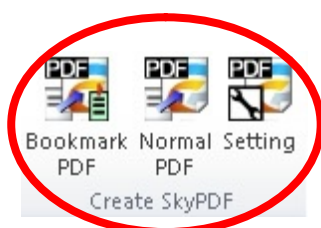
PDF ファイルを作成する（ツールボタン）

Microsoft Word, Excel および PowerPoint に、PDF ファイルを生成するためのツールボタンが組み込まれます。これらのボタンをクリックして、PDF を生成することができます。

【メモ】

別途設定が必要です。詳細については「SkyPDF Pro Driver の設定」を参照してください。

1. Office メニュー上の SkyPDF タブに Create SkyPDF 欄が表示されますので、[Normal PDF] ボタンをクリックします。



【メモ】

[Setting] ボタンで設定変更が可能です。

自動的に、PDF ファイルの生成が実行されます。

【メモ】 SkyPDF Pro セットアップの「SkyPDF Pro で利用したいサービス」で選択した office アプリケーションには上記のツールボタンが表示されます。（設定詳細については「SkyPDF Pro Driver の設定」を参照して下さい。）

2. [PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して [保存] をクリックします。

注意

アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF ファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、アプリケーションの印刷コマンドで、PDF ファイルを生成してください。

Excel では選択された 1 シートのみの対応となります。

しおりとリンク注釈付きの PDF ファイルを作成する

Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint) にしおり付き PDF ファイルを生成する為のツールボタンが組み込まれます。このボタンをクリックするだけで、しおりとリンク注釈付きの PDF ファイルを作成することができます。

「しおり」とは PDF ビューア で PDF を開いた時、左側に表示される目次の形のものです。PDF 文書内の特定の箇所へのリンクになっており、そこをクリックすることで、PDF 文書内の特定の箇所にジャンプすることができます。

「リンク注釈」とは PDF ビューア で PDF を開いた時、Office で設定していた文書内のハイパーリンクが、PDF 文書内でも同様の箇所へのリンクできるようになる機能です。

注意

リンク注釈は Excel では動作しません。

PowerPoint は読み取り専用の文書では動作しません。

PowerPoint 上で変更履歴が設定表示される文書は動作保証外とさせていただきます。

Word 上の書式で“見出し 1”などの見出しを検知し、しおりとして設定します。

(“見出し”という文言が含まった書式のみで見出し 1～9 まで対応)

Excel は“シート名”を検知し、しおりとして設定します。

(選択された 1 シート目のみの対応)

PowerPoint は“スライドのタイトル”を検知し、しおりとして設定します。

(タイトルが無い場合スライド番号が“スライド番号 1”という形式で検知されます)

Word と PowerPoint のみ、しおり付 PDF 作成ボタンを押下した場合、ハイパーリンク情報を検知し、リンク注釈を付与します。

1. Microsoft Office のツールバー上にある左端の「BookmarkPDF」ボタンをクリックします。

【メモ】

ボタンが無い場合は、別途設定が必要です。詳細については「SkyPDF Pro Driver の設定」を参照して下さい。



自動的に PDF ファイルの生成が実行されます。

2. [PDF ファイルに名前をつけて保存]ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して [保存] をクリックします。

注意

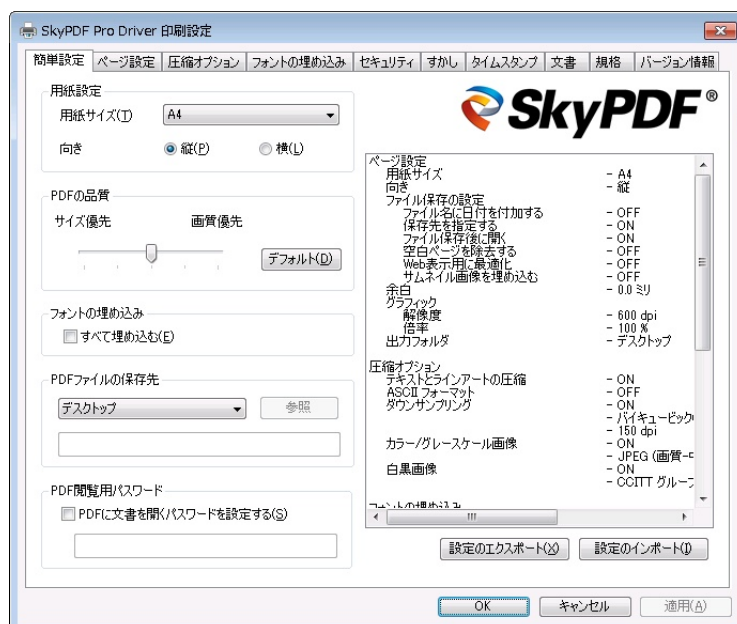
1 ページ内 (ページを跨らない) の複数行の URL リンクを付与したい場合は、当該の「しおり付き PDF 作成」ボタンを押下した時のみ対応可能です。

SkyPDF Pro の初期設定を変更する

SkyPDF Pro をインストールした後、SkyPDF Pro Driver のプロパティを何も変更せずに PDF ファイルを作成した場合は、初期設定で PDF ファイルが出力されます。

この初期設定を変更しておけば、アプリケーションから PDF ファイルを作成するたびに SkyPDF Pro Driver のプロパティを変更することなく、常に独自の設定で PDF ファイルを作成することができます。

1. Windows Vista、7 を使用している場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プリンタ] (Windows7 ではデバイスとプリンターの表示) を選択します。Windows8/8.1 を使用している場合は、スタート画面から右クリックの[すべてのアプリ]から [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] を選択します。
(Vista 以降は設定によりコントロールパネルやプリンタ設定の表示方法が異なりますので、各 PC の設定に応じてください)
2. プリンタの一覧が表示されたら、[SkyPDF Pro Driver] を右クリックし、[印刷設定] を選択します。
3. 必要に応じて、各タブで設定を変更し、[OK] をクリックします。



SkyPDF Pro Driver のプロパティで設定できる機能の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

注意

ここで設定した SkyPDF Pro Driver のプロパティの初期設定は、Windows のユーザアカウントごとに保存されます。

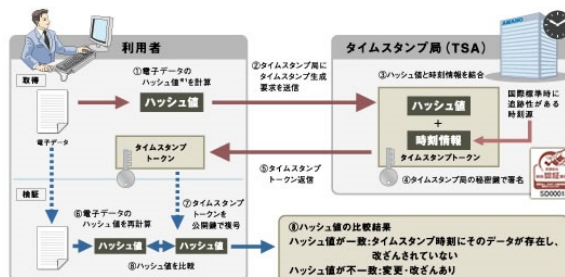
タイムスタンプを PDF に付与する

SkyPDF Pro では、作成する PDF ファイルにアマノタイムスタンプを付与することができます。

タイムスタンプは次のような 2 つの効果によって、電子データの証拠性を確保し、電子署名の限界を補完する事もできます。

存在証明: タイムスタンプが付与された日時に確かにデータが存在していた事の証明ができます。

完全性証明: タイムスタンプが付与された日時以降、そのデータが改ざんされていない事の証明ができます。



タイムスタンプ名称	内容
アマノタイムスタンプサービス 3161 認定サービス	このサービスは、財団法人日本データ通信協会の認定をうけています (有償)

詳細の操作手順については、オンラインヘルプを参照してください。

アマノタイムスタンプ電子証明書のインストール

アマノタイムスタンプを検証するためには、電子証明書をあらかじめ取得する必要があります。アマノビジネスソリューションズ (株) のホームページ <http://www.e-timing.ne.jp> の一番下にある「リポジトリ及びその他の公開情報」をクリックし、認定サービス用の電子証明書を以下の手順にて取得してください。



1. e-timing EVIDENCE3161 サービスの電子証明書

https://www.e-timing.ne.jp/repository/tsa/tsa3161_repository.html のRoot-CAの証明書のファイルからセコムトラストシステムズ株式会社のリポジトリからRoot-CA 証明書(SCRoot1ca.cer と SCRoot2ca.cer) 2つをクリックする。)

Root-CAの証明書

証明書	入手先リポジトリページ
2012/02/19までに発行されたタイムスタンプ用Root-CA証明書	Security Communication RootCA1 Repository
2012/02/19から発行されるタイムスタンプ用Root-CA証明書	Security Communication RootCA2 Repository

※1 暗号アルゴリズム移行までに、こちらを通知下さい。 ※2

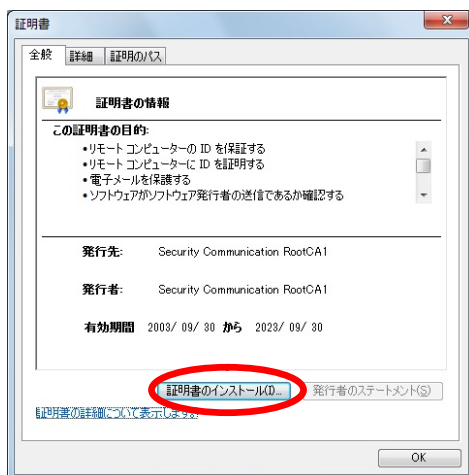
RootCA1 と RootCA2 両方が必要です。

次の 電子証明書をインストールする手順はこの 2 つの証明書分実施してください。

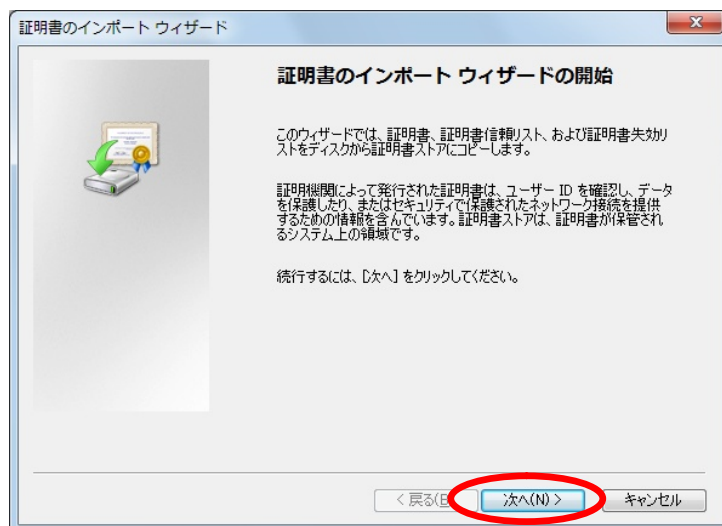
開くを選択します。



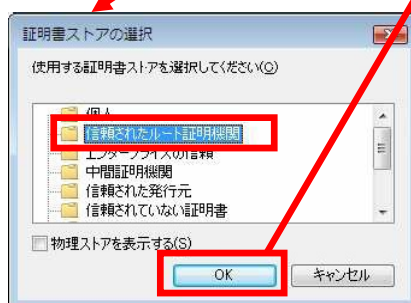
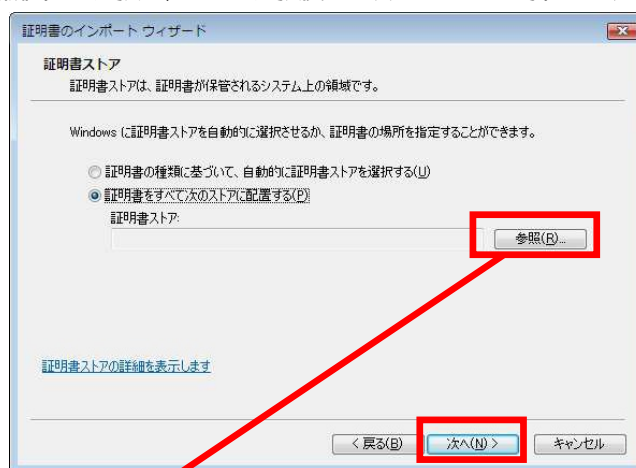
「証明書のインストール」ボタンを押下します。



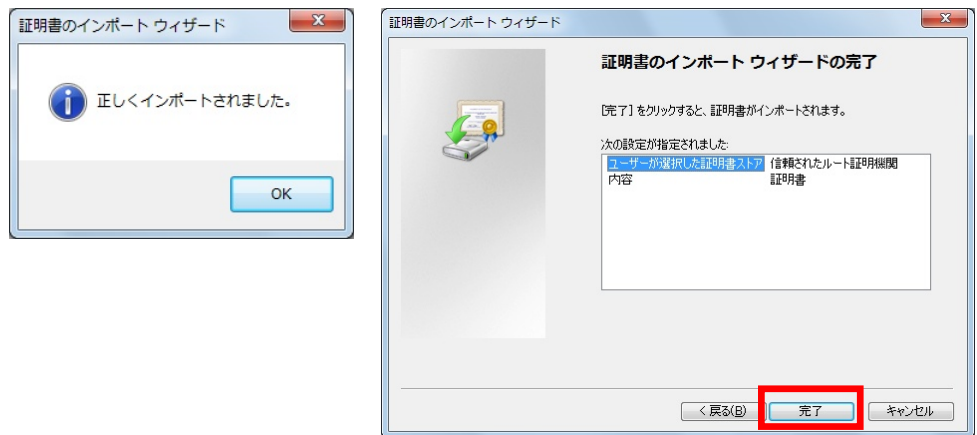
「証明書のインポート ウィザード」ウインドウの「証明書のインポート ウィザードの開始」画面で「次へ」ボタンを押下します。



「証明書のインポート ウィザード」ウインドウの「証明書ストア」画面で、下図のように「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」ボタンを選択し、「参照」ボタンを押下した上で「証明書ストアの選択」ダイアログから「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」選択後に「次へ」ボタンを押してください。



正しくインポートされたメッセージを OK で閉じ、「証明書のインポート ウィザード」ウィンドウの「証明書のインポート ウィザードの完了」画面で「完了」ボタンを押下します。



以上で証明書のインポートは終了です。

制限・注意事項

取り扱い PDF ファイルについて

当社では、表示可能な PDF ファイルの目安として、PDF の技術仕様(ISO32000-1) に準拠し、最大 400000 ページ、最大 4GB の PDF を開いて表示できることを確認しています。

この PDF 技術仕様に準拠していない PDF を扱うと、「暗号化の復号に失敗しました」とのメッセージが表示される場合があります。

上記範囲内の PDF であっても、本ドキュメントに記載した制限、または当社の認識していない環境、文書依存などの要因により、表示や操作に問題が発生する場合があります。

PDF ファイルの関連付けについて

Windows8/8.1 での制限事項

Windows8/8.1 では、SkyPDF2012 からの関連付けの復元はできません。[既定のプログラムの選択]画面内の PDF ファイルの関連付け設定にて復元したい PDF 表示ソフトを選択してください。

インストール時または SkyPDF2012 の環境設定画面から関連付けを行った場合、[既定のプログラムの選択] 画面内の PDF ファイルの関連付け設定におけるアプリケーション一覧に、“マイクロソフトリーダー”が非表示となります。この場合、SkyPDF2012 の関連付けを解除すれば、再度表示されるようになります。

インストール時または SkyPDF2012 の環境設定画面からスタンドアロン版のみ関連付けがされている状態では、Internet Explorer にて PDF ファイルを開こうとした場合、SkyPDF2012 のスタンドアロン版が起動し表示されます。

ユーザーを後から追加した場合、そのユーザーではログインして 3 分後 に関連付けされます。

自動で Windows Update の処理が起動すると、関連付けが外れる状態になります。重要な更新プログラムの“更新プログラムを確認しない(推奨されません)”を設定しない限り、この事象となります。

Internet Explorer の 64 ビット版では、PDF 表示が Web に関連付けられていても、SkyPDF2012 が Internet Explorer 内で起動せず、SkyPDF2012 のスタンドアロン版が起動し表示されます。

Internet Explorer の 64 ビット版では、Embed タグで Internet Explorer 内に SkyPDF2012 にて PDF を表示させる機能に対応しておりません。

Windows Vista 以降の OS において、SkyPDFPro で PDF 生成後、関連付けされていないアプリケーションで PDF を開くことがあります。それは、次の場合です。

- a. SkyPDFViewer、Profesional/Standard で関連付けした後、AdobeReader/Acrobat の修復機能で関連付けを戻した場合。
- b. SkyPDFViewer、Profesional/Standard で関連付けした後、Windows の機能で、他のアプリケーションに関連付けを変更した場合。

ビューアの起動に関する事項

SkyPDF2012 が正常に起動し終わらないうちに連続で起動するなどといった不正な操作を行った場合、PDF ファイルが開けなくなるなど、動作が不安定になる場合があります。

[対処]

本製品を終了させた状態で、タスクマネージャの[プロセス]タブを表示させ、SPViewer.exe が残留している場合は、[プロセスの終了]ですべての SPViewer.exe を強制終了してください。

PDF の作成機能に関する事項

Windows8/8.1 のスタート画面（ストアアプリ画面）の Internet Explorer からプリンタとして SkyPDF Pro Driver を利用して印刷（PDF 化）しても、処理が無反応もしくは停止したような状態になります。

Standard 版のみ、画像ファイルをデスクトップアイコンにドラッグアンドドロップすると、無反応状態になります。

[対処]

画像ファイルの関連付けを[フォト]ではなく、[フォトビューアー]または[ペイント]に変更してください。

外字領域で、文字が割り当てられていない文字コードが使われている時、PDF/A 変換できない場合があります。（PDF/A でない変換であれば可能です）

SkyPDF Pro Driver の「フォントの埋め込み」設定で Type1 フォントを設定し、そのフォントを使用して作成された文書を PDF に変換した場合、アプリケーションによっては、その PDF を開くとエラーメッセージが表示されたり、Type1 フォント部分を空白で表示したりなどという

た意図しない表示となる可能性があります。

[対処]

以下 3 つの対処策のいずれかを行ってください。

- Type1 フォントをご利用の際は、フォントの埋め込みを行わない。
埋め込みを行わないため、PDF ファイルを開く環境に該当フォントがインストールされていない場合は、代替フォントで表示される可能性があります。
- Type1 フォントを他フォントに変更する。
- SkyPDF Professional/Standard/Viewer で PDF ファイルを開く。

SkyPDF Pro Driver の「ページ設定」設定について
「空白ページを除去する」場合

- 1 Microsoft Office PowerPoint では、空白ページがあっても除去されません。
- 2 Microsoft Office Word()では「挿入(I)」 「改ページ(B)...」で作成される空白ページのみ除去されます。(Enter キーを押して作成した空白ページは除去されません)

注意：Microsoft Office Word 2007・2010・2013 では空白ページ作成時(「挿入」 「空白のページ」)に必ず改行文字が入る仕様のため除去されません。

「サムネイル画像を埋め込む」場合

製品仕様上、1200dpi を限界値としています。

SkyPDF Pro Driver の「文書」(ハイパーリンク機能)設定について
Justsystem 一太郎の場合

e-mail アドレスの直前に文字と空白が有る場合、空白が無視され、文字とアドレスがハイパーリンクとして認識されます。

例：(e-mail ii-help@skycom.co.jp の場合、"ii-help@skycom.co.jp"でなく、"e-mailii-help@skycom.co.jp"となります。

この部分の空白が無視されます。

Microsoft Office Visio の場合

Microsoft Office Visio は文字データが分割されて扱われるため、PDF 作成時にハイパーリンク文字列が認識出来ません。ただし、他アプリ(Word 等)からの貼り付けであれば、ハイパーリンクが付与できます。

(注意：各項目のフォントの条件を満たす必要があります)

Microsoft Office Excel 及び PowerPoint の場合

特殊記号が別のフォント扱いになるため、通常文字と特殊記号が別々の文字列になり、ハイパーリンク文字列として認識されません。

例： 特殊なフォント一覧（名称）：

Estrangelo Edessa、Gautami、Latha、Mangal、
Raavi、Shruti、Tunga

全般

ハイパーリンク対象文字列の中に、下記の文字が含まれていると、それ以降がハイパーリンク文字列化されません。

(^	¥		'	"
---	---	---	--	---	---

例

[http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418\(VS.80\).aspx](http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx)
を PDF 化した場合、

<http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418>
までがハイパーリンク文字列となります。

ハイパーリンク対象文字列は 1 行のみです。複数行に渡の場合は、Office アドインツールボタンのしおりボタンで生成してください。

アプリケーションや環境によって、適用される圧縮オプションの方式が異なる場合があります。

例えば、「ペイント」で同一の TIFF 画像を PDF 作成しても、32 ビット OS では「白黒画像」の設定が有効になり、64 ビット OS では「カラー / グレースケール画像」が有効になる場合があります。

Internet Explorer 9 以上で Web ページを PDF 生成する場合、生成時の保存先ダイアログをキャンセルすると、エラーメッセージが表示されますが、これは Internet Explorer 9 以上におけるマイクロソフト社の既知の問題のため表示されます。エラーメッセージ自体表示はそのまま終了させてください。

Internet Explorer から Web ページなどを PDF 生成する場合、以下の条件が揃った場合のみ、エラーメッセージも表示されず、PDF 生成も行われません。

[条件]

- ・ 32 ビット OS で保護モードが設定されている場合
- ・ 「Web 表示用に最適化」を [ページ設定] タブで設定している場合

[対処]

Standard 版の場合、保護モードを解除して PDF 生成してください。

Professional 版の場合、一旦「Web 表示用に最適化」を設定せずに PDF 生

成し、Professional 版のビューアで開いて、環境設定の[ページ設定]内の「Web ページ用に最適化」をチェックして「名前を付けて保存」をします。

PDF/A 変換をした PDF が、一部 Adobe XI のプリフライトが正常に実施されない場合があります。

[条件]

元から埋め込まれているフォントに設定されている CIDSet に不備がある場合

文書内リンクなどのオブジェクトが大量にある文書の場合、Web 最適化にして保存する処理が終了しない場合があります。

文字にリンクを追加する場合、以下の操作でリンクが機能しないことがあります。

- a. 複数ページ文書の特定ページの文字に、指定ページへジャンプするリンクを追加します。
- b. 上記 a でリンク追加した部分とは別のページに、同様に、指定ページへジャンプするリンクを文字に追加します。
- c. 上記 a でリンク追加した部分に戻ると、リンクのポップアップが“ページ-1”と表示され、プロパティでも指定ページ欄が空白になります。

そのまま文書を保存すれば正常に a のリンクが機能します。
単ページ文書や、a と同ページに追加するリンクでは発生しません

動作保証アプリケーション

動作保証アプリケーションの場合でも、レイアウトやファイルサイズなどの条件により、稀に PDF の精度が損なわれる場合があります。

Microsoft Office Visio の場合

Microsoft Office Visio の Bold (太字)、Italic(斜体)、ItalicBold (太字斜体) 文字が PDF 化した場合にテキストではなく、グラフィックとして認識されて PDF 変換される場合があります。

また、標準字体でもグラフィックとして認識される場合(下記例を参照)があります。

例：Microsoft Office Visio では“MS Pゴシック”のフォントの標準字体の場合、印刷解像度 300dpi 以下では文字は全てグラフィックとして認識されます。また、印刷解像度 600dpi ではフォントサイズが 86pt 以上、1200dpi では 43pt 以上、2400dpi では 22pt 以上の文字は全てグラフィック

クとして認識されます。

動作保証しているアプリケーションにて不具合が発生した場合、弊社カスタマサポートまでメール（e-mail:cs@skycom.jp）でお問い合わせください。今後の改善課題の参考とし調査いたします。また併せて、不具合のサンプルファイルを添付してください。

Microsoft Office Visio の仕様のため、印刷設定で用紙の向きを変更しても反映されません。

Microsoft Office からのしおり生成ボタンの生成において、ハイパーリンクの付与された図形が存在する文書には対応しておりません。しおりやリンクの生成に失敗します。

Microsoft Office Word からの PDF 生成にて PDF のファイル名に（）＝半角括弧文字を使用した場合、Word の仕様により _＝アンダースコアに変換されます。

Microsoft 参考 URL <http://support.microsoft.com/kb/944002/ja>

Microsoft Office 2007 以降の PDF 品質について

Microsoft Office 2007 以降（以後 Office と記述）において、PDF 作成すると表示品質が問題になることがあります。しかし、Office の高画質な印刷設定により回避できることがあります。Office に関する印刷設定の詳細につきましては、Microsoft の情報サイト（ 1 ）をご確認ください。

回避策として、Office の印刷に関する設定変更を推奨します。例えば、下記サンプル（ 2 ）の赤矢印で示したオブジェクトのように、推奨設定で作成すると描写精度が向上することがあります。



但し、推奨設定の場合、標準設定で作成される PDF よりデータサイズが大きくなる傾向がありますので、用途に合わせて、下記の推奨設定をお試しください。

1: (MSDN 印刷の概要)

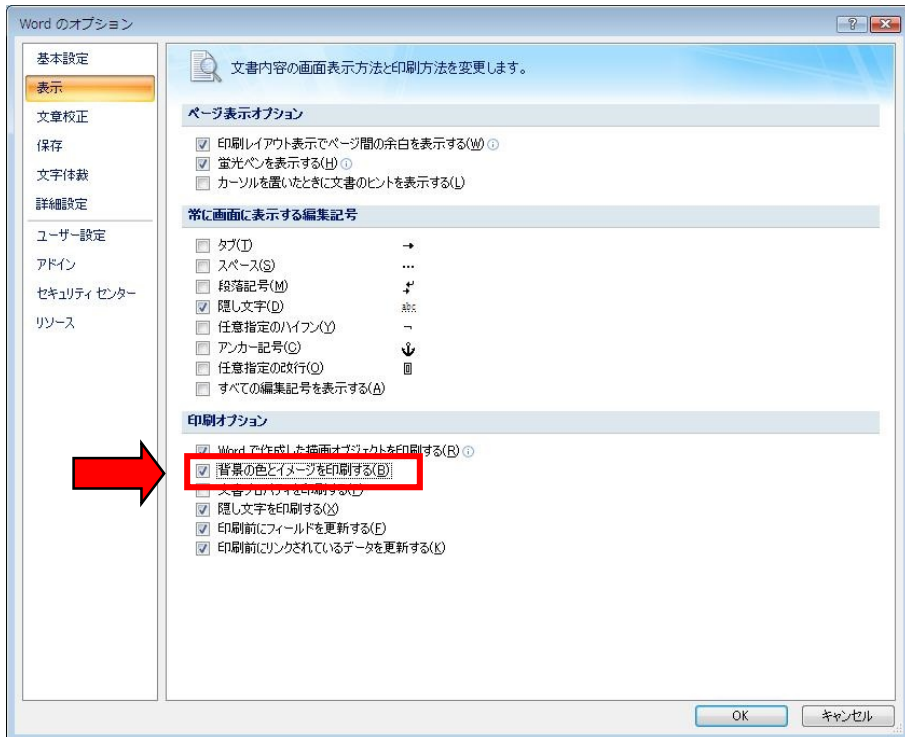
[http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418\(VS.80\).aspx](http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx)

2: (出展)

<http://download.microsoft.com/documents/uk/technet/postevent/01-05-2007/MicrosoftForefrontAndSystemCenter.pptx>

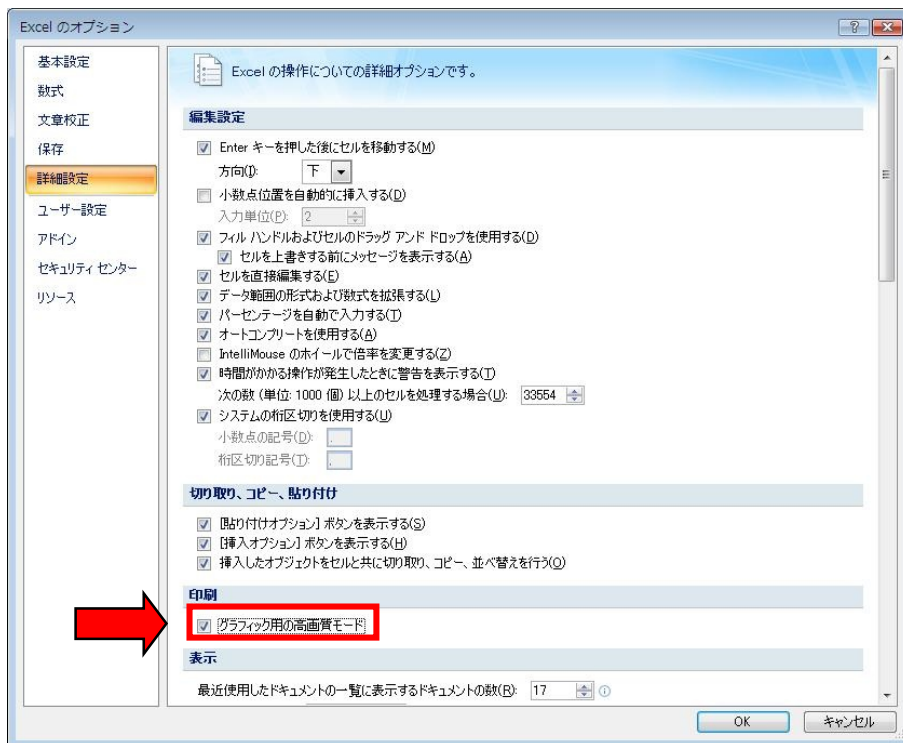
(1) Microsoft Office Word の場合

「Word のオプション(I)」 「表示」を開き、「印刷オプション」の「背景の色とイメージを印刷する」にチェックします。



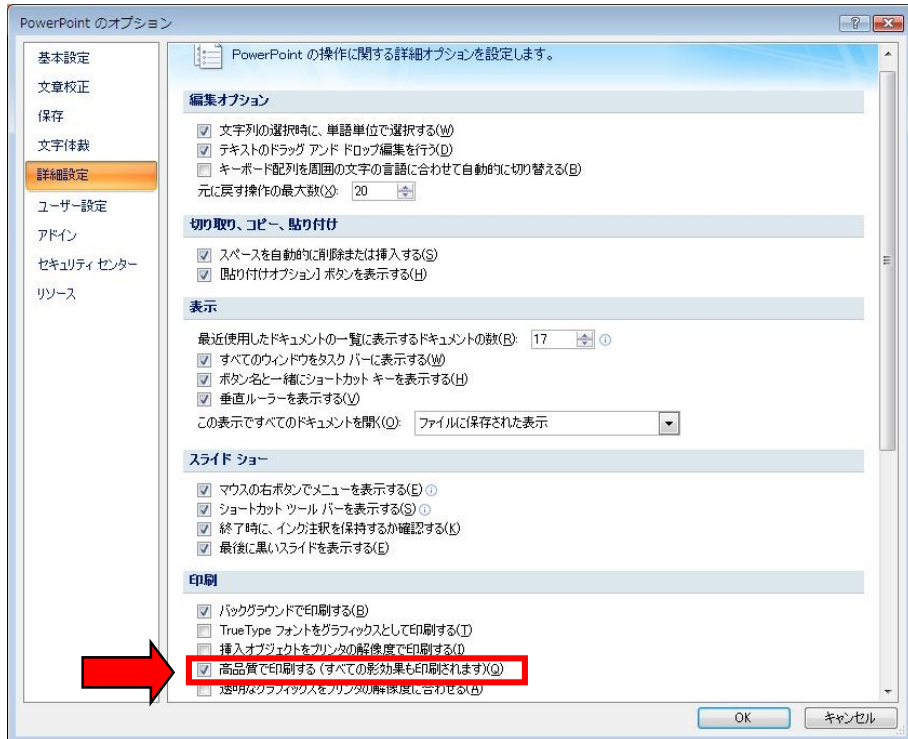
(2) Microsoft Office Excel の場合

「Excel のオプション(I)」 「詳細設定」を開き、「印刷」の「グラフィック用の高画質モード」にチェックします。



(3) Microsoft Office PowerPoint の場合

「PowerPoint のオプション(I)」 「詳細設定」を開き、「印刷」の「高品質で印刷する」にチェックします。



PDF の表示機能に関する事項

フォントが埋め込まれていない PDF (特に Macintosh 上で作成された PDF) の表示は、他社 PDF 閲覧アプリでの表示と異なる場合があります。

PDF 内で使用されているフォントがコンピュータ内に存在しない場合は、指定されたフォントと近いフォントを選択し、代替フォントにて表示しています。そのため、他社 PDF 閲覧アプリと異なったフォントを使って表示場合があります、文字 (括弧等) の表示位置がずれることがあります。また、サロゲートペアの文字でもフォントが埋め込まれていないと、正しく表示できない場合があります。

Adobe Reader

目指し、「環境保全型社会の構築」及び「地球規模の環境保全」に貢献
すべく、事業活動を行うものとする。

[基本方針] 1 「環境保全型社会の構築」への貢献

「環境保全」を経営の根幹と認識し、社をあげた取り組みの成果を踏まえ、地球規模の温暖化問題、循環型社会形成に向けた廃棄物削減・リサイクル、新たな環境負荷物質への対応等の幅広い課題に、積極的に取り組んでいく。

目指し「環境保全型社会の構築」及び「地球規模の環境保全」に貢献
すべく、事業活動を行うものとする。

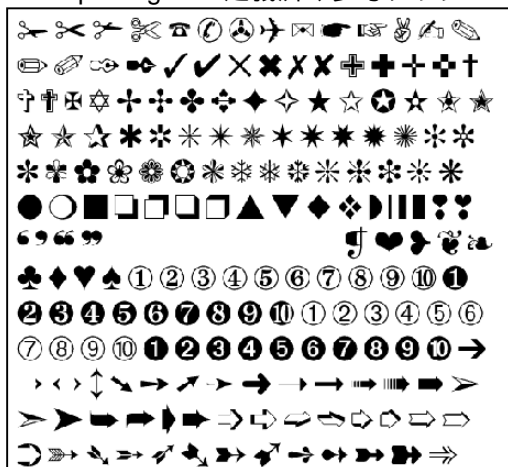
[基本方針]

1 「環境保全型社会の構築」への貢献

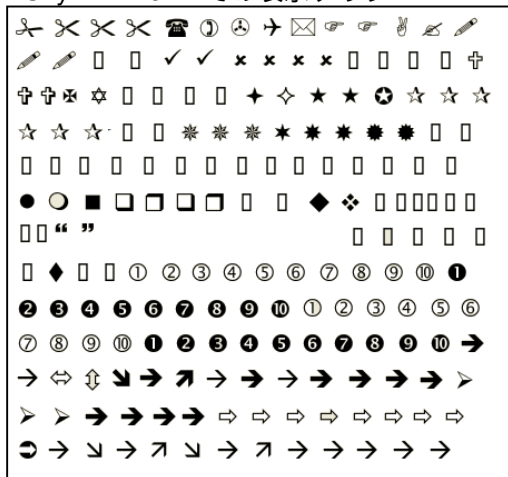
「環境保全」を経営の根幹と認識し、社をあげた取り組みの成果を踏まえ、地球規模の温暖化
問題、循環型社会形成に向けた廃棄物削減・リサイクル、新たな環境負荷物質への対応等の

Mac や Adobe 製品で作成された PDF で “ZapfDingbats” フォントが使用されている場合、Windows 環境でサポートされていないフォントのため、代替フォントが適用され、四角形や形の異なったグリフ（字形）が表示されます。以下の一覧を参照ください。

ZapfDingbats 定義済み参考グリフ



SkyPDF 2012 での表示グリフ



フォントが埋め込まれている PDF の表示

DHP 行書体フォントにおいて、右寄りで表示される文字があります。

スタンプ注釈の印鑑において、区切り数や文字の種類によっては、中央より少しずれた状態で表示される場合があります。

Adobe Acrobat で付与したフリーテキスト注釈の編集をするとスタイルが崩れる場合があります。

SDI モード（別ウインドウで表示）の際、同じファイルを複数開くことができます。

ネットワーク上など別の PC やサーバーなどにある PDF ファイルを本製品にて、且つ、ローカル PC と別の環境で同時に開いた場合、以下の現象が発生します。

ローカル PC にて編集して上書き保存をすると、ファイルが使用中のため上書き保存ができない旨のダイアログが表示され、それを閉じると、[名前を付けて保存] のダイアログが表示されます。それもキャンセルで閉じると、編集内容は残ったままの状態、上書き保存がグレースアウトし、操作できなくなります。

その後、別環境で開いていた PDF を閉じても、ローカル PC 側の上書き保存はそのまま機能しません。ファイルを開きなおして編集するか、上記で [名前を付けて保存] のダイアログが表示された際に別名で保存してください。

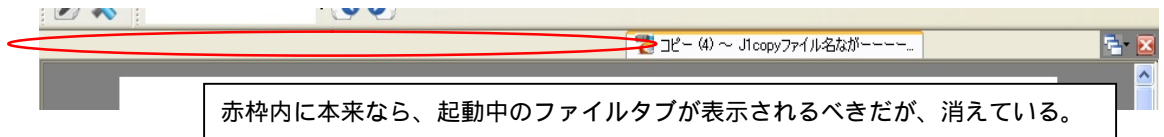
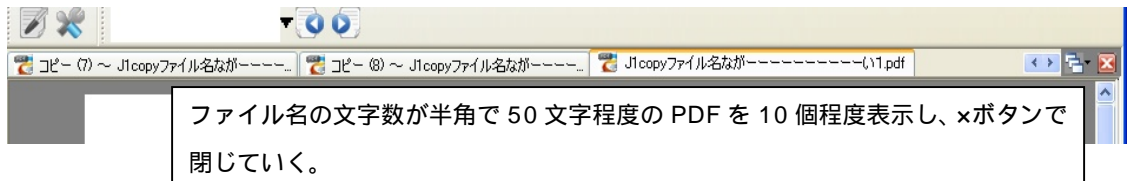
本製品はセキュリティを考慮し、JavaScript を使用したフォームには対応していない仕様のため、そのフォームのボタンや署名フィールドなどは動作しません。

ツールバーの [前の画面] / [次の画面] ボタンの機能で、前回最終表示ページについて、PDF ファイルを閉じた後の 5 ファイル前まで記憶しますが、PDF の内部仕様で文書 ID が存在しない PDF ファイル、およびそのような PDF ファイルを編集集中で保存していない状態の場合この記憶ができません。

Internet Explorer で PDF を表示させる際、URL の末尾に #page= ページ番号 にて指定したページを表示させる機能に対応していません。そのような URL 指定の場合は、先頭ページが表示されます。

ナビゲータタブの背景部分にデスクトップ画面の一部が表示される事象が発生しますが、動作に影響はありません。

ファイル名の文字数が半角で 50 文字程度の PDF を 10 個程度表示させ、順番に閉じていくと、ファイル名を表示しているタブの部分のみ表示が消える事象が発生します。



[対処]

図の赤枠内をクリックすると表示されます。またはタブリストを表示させ、ファイルを選択してください。すべてのファイルタブを表示させたい場合は、本製品を再起動してください。

PDF の編集機能に関する事項

Unicode へのマッピング情報が入っていない場合、PDF 内の 1 部の文字列でテキスト選択ができない場合があります。

サードパーティ製 PDF (GPL Ghostscript 製等) において、Unicode へのマッピング情報が入っていない場合、文字列をテキスト選択し別のアプリケーションにコピー & ペーストすると文字化けすることがあります。

サロゲートペア文字のテキストコピー、検索はできません。

テキストを選択コピーし、別のテキストエディタに貼り付けると PDF 上の空白行が空白 + 改行として貼り付けられます。
(現在 PDF 作成プリンタドライバでのテストページ出力にて事象が確認されています。)

Adobe Reader など他の PDF 閲覧/編集アプリで同一ファイルを開いているときは、ファイルの保存ができないため、その間行った署名や注釈などの編集内容はすべて破棄されます。他の PDF 閲覧/編集アプリで開いていないことを確認してから、PDF の編集を行ってください。

テキスト直接編集機能において、PDF ファイルによっては、複数行選択して削除や改行追加で残りの文字がずれる現象やテキスト直接編集の選択自体ができない場合があります。現在、一部の特定 PDF で同現象が確認されていますが、今後改善を検討しています。

文書 ID が存在しない PDF を編集保存すると、以降より記憶が可能になります。SkyPDF Pro Driver で生成される PDF ではセキュリティ付、および、PDF/A 変換の場合のみ文書 ID が付与されますが、それ以外の場合、文書 ID が存在しない状態で生成されます。

紙印刷(物理プリンターによる印刷)に関する事項

レンダリングモードで印刷を行う場合、データを画像変換してプリンタへ送信するため、印刷スプールサイズが大きくなります。そのため印刷が遅くなる場合や、プリンタにより印刷エラーになる場合があります。

* 確認済みのケース

PDF : JEITA (日本電子情報技術産業協会) のサンプル PDF (J12.pdf)
プリンタ : Fuji Xerox DocuPrint C1100

[対処]

通常モードで印刷するか、印刷時の操作画面に表示されている、印刷ジョブを分割する処理を実施してください。

1 ライン毎に表現されているようなグラデーションやイメージを含む PDF を通常モードで印刷すると、グラデーション(イメージ)間に線が入る場合があります。

[対処]

レンダリングモードで印刷を行ってください。

PDF 内で代替フォントが使用されており、その代替フォントが持っているグリフ幅と、PDF 内に記述されているグリフ幅が異なる場合、テキストコード出力を ON にして印刷すると文字間隔が崩れて印刷されます。

[対処]

テキストコード出力を OFF にして印刷を行ってください。

Type3 フォントが使用されている場合や、プリンタの機種によっては、マスク画像のクリッピング出力を ON にして印刷すると、印刷品質が荒くなる場合があります。

[対処]

マスク画像のクリッピング出力を OFF にして印刷を行ってください。

セキュリティ機能に関する事項

RMS セキュリティ機能でコピー・抽出を禁止された PDF を開き、別のタブウィンドウで PDF を複数開くと、RMS セキュリティの付与されていない PDF にもプリントスクリーン機能が抑止され、RMS セキュリティの付与された PDF を終了するまで解除されません。

RSA セキュリティ機能で 128bitAES にて添付ファイルのみの暗号化を設定された PDF においては、添付ファイルを開こうとすると警告メッセージが表示され、開くことができません。

署名されている PDF にはセキュリティを付与することができません。署名されている PDF を開くと、文書のプロパティの“セキュリティ”タブで設定画面がグレースアウトになります

SkyPDF Pro Driver 印刷設定のページ設定タブで、[同名ファイルが存在した場合の設定]が[既存ファイルの後に追加する]に設定されている場合、通常、セキュリティ機能によって暗号化されている PDF ファイルに対し、暗号化されていない PDF ファイルを追加することはできません。

ただし、セキュリティタブの[マスターパスワード]のチェックボックスを ON にしたまま[セキュリティをかける]のチェックボックスを OFF にしている場合、直前のセキュリティの設定によっては、追加できてしまうことがあります。

表のコピーに関する事項

ツールバーのテキスト選択ボタンから PDF 上のテキストを選択し、右クリックで[テーブルとしてコピー]を選択し、Excel に貼り付ける場合、以下の結果となります。

- a. Excel に貼り付ける際に[形式を選択して貼り付け]する場合、XML スプレッドシート形式を選択するとフォントサイズが反映された形でコピーされ、Ctrl+V 等で普通に貼り付けた場合、XML スプレッドシート形式で貼り付けられます。また、貼り付ける際に[テキスト]または[Unicode テキスト]を選択するとフォントサイズは未反映のまま貼り付けられます。
- b. 空白セルは無視されるため、例えば、文字セル 1+空白セル+文字セル 2 の横並びをコピーした場合、Excel に貼り付けた結果は、文字セル 1+文字セル 2 となります。
- c. 別セルの判断が 2 文字以上の空白文字で実施しているため、PDF

表示のエリアとして表内の文字の末尾に 2 文字分以上の空白が無い場合は、Excel に貼り付けた結果が同じセル内となります。

- d. 次の行という判断が、前の文字列の下位置という判断で実施しているため、PDF 表示のエリアとして表内の文字列の位置が下に位置する文字列は、Excel に貼り付けた結果が次の行となります。

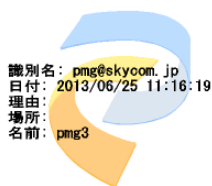
ページのトリミングに関する事項

ページのトリミングを実施した直後、各編集操作（例：しおり、注釈付与）が正常に動作しない場合があります。ページのトリミングを実施した後は、一旦 PDF ファイルを保存してください。

署名に関する事項

GPKI 署名の環境設定画面内の[プロキシ設定]にて、[認証]欄の[あり（Basic 認証）]を選択した場合、Basic 認証のみ動作可能です。

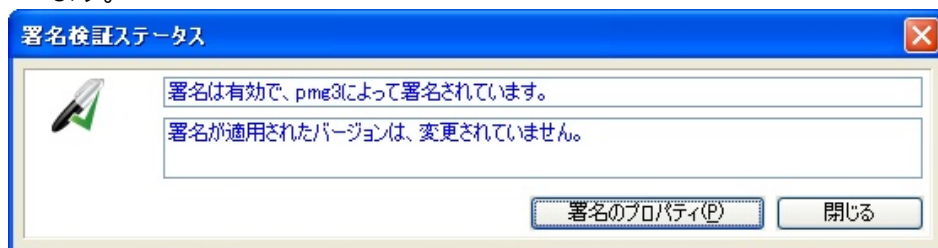
署名（状態表示）の表示について



署名が有効か無効かの状態を表すアイコンは表示されません。

[対処]

マウスで署名をクリックし、以下のダイアログを表示しステータスを確認します。



電子印鑑に関する事項

電子印鑑インプレットはドライバが対応していないため、64 ビット OS では使用できません。

タイムスタンプに関する事項

アマノタイムスタンプの仕様に則り、次の暗号化を使用した PDF は使用できません。

「高 (128bit RC4 Acrobat6 互換)」

「高 (128bit AES)」

「高 (256bit AES)」

中国語 OS では、証明書のパスに漢字が使用されているとアマノタイムスタンプにエラーで失敗します。

Internet Explorer のプロキシ設定においてタイムスタンプサービスがエラーになることがあります。その場合、Internet Explorer の詳細設定で“プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する”を有効にしてください。

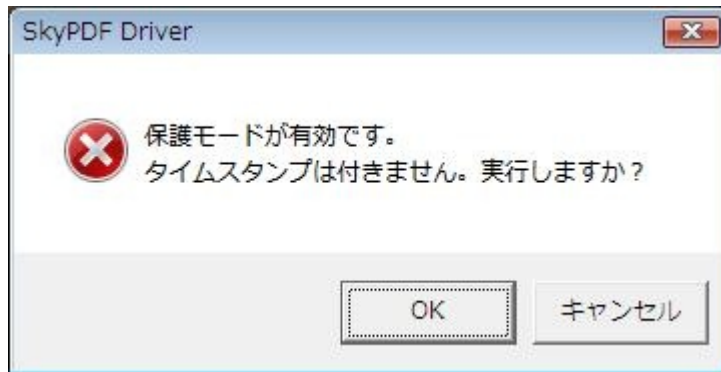
Windows のプロキシ接続環境において、[コントロールパネル] - [プリンター]より SkyPDFPro の印刷設定画面を操作した場合、プロパティ画面の“タイムスタンプ”タブのテストボタンが動作しない場合があります。その場合は Windows のログオフが必要になります。

Windows Vista 以降では、保護モードが有効な Internet Explorer 7 以降からの PDF 作成時、制限ユーザー (Administrator 以外) はタイムスタンプ機能が使えません。

- a. 制限ユーザー (Administrator 以外) で Windows にログインし、Internet Explorer を起動します。



- b. 「保護モード：有効」の場合、「印刷」ボタンを押すと、下記ダイアログが表示されます。



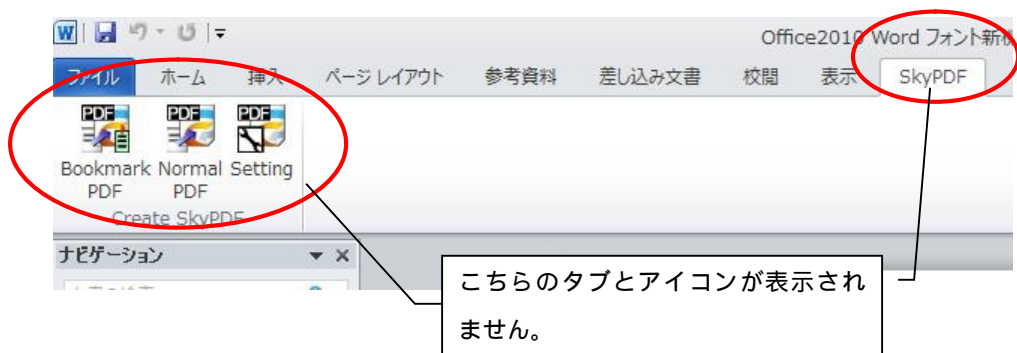
「OK」・・・タイムスタンプの付かない PDF を作成

「キャンセル」・・・PDF 作成を中断

アマノタイムスタンプおよびアマノタイムスタンプを使用するハイブリッド署名は、Windows 8.1 では動作保証外となります。

Office 製品のアドイン表示に関する事項

Windows7 以降の 64bit OS で Office2010/2013 64bit 版が導入された PC に本製品をインストールすると、Office 製品の画面で SkyPDF アイコンが表示されません。



SkyPDF Utility に関する事項

SkyPDF Utility で以下の条件に該当する Excel ファイルの PDF 変換を行う場合、「保存先を指定する」にチェックが付いていなくても、「PDF ファイルに名前をつけて保存」ダイアログが表示される場合があります。

[条件]

過去に SkyPDF Driver で「保存先を指定する」にチェックを付けて PDF 変換を行った後、保存した Excel ファイル。

[対処]

Excel ファイルを、SkyPDF Driver 以外のプリンタを選択した状態で保存し直して下さい。

PDF の種類によっては、結合・分割を受け付けない場合があります。

- a. SkyPDF 製以外の他社製 PDF で PDF 規格に違反して作成されているもの

受け付けられない場合、以下メッセージのいずれかが表示されます。

[PDF オブジェクトの読み込みに失敗しました。]

[Trailer 辞書の読み込みに失敗しました。]

[PDF ファイルの読み込みに失敗しました。]

- b. セキュリティ付き(パスワード等)、署名やタイムスタンプ付きの PDF

一括 PDF 出力タブにおいて、

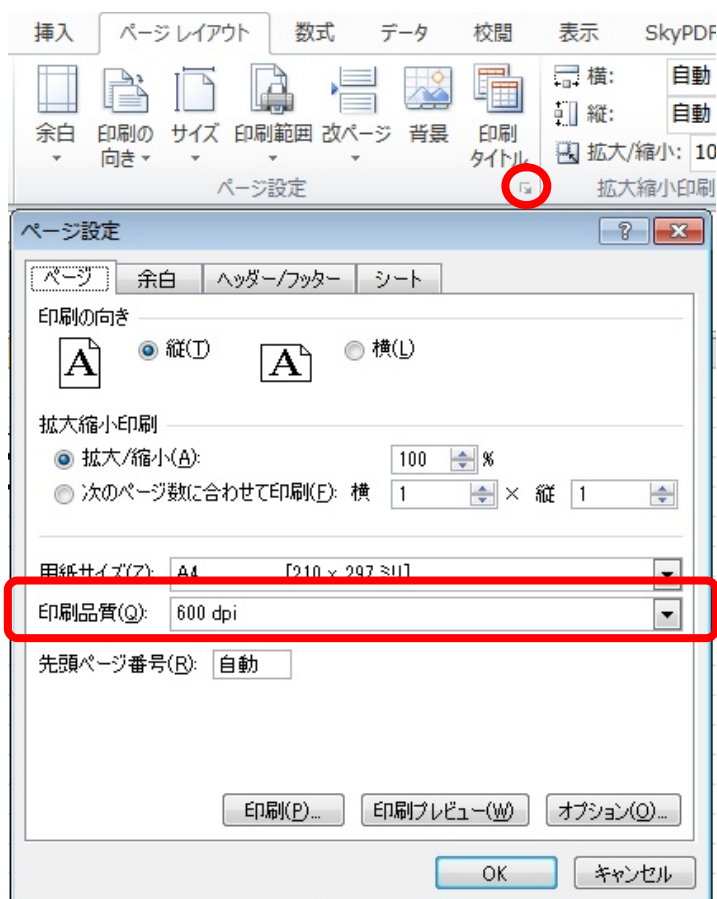
- a. Justsystem 一太郎ファイルが複数シートにて構成されている場合、アクティブシートのみ PDF 生成されます。

- b. Microsoft Office Excel ファイルが複数シートにて構成されている場合、変換ユーティリティにおいては、「**ブック全体**」印刷されます。その時、各シートの「印刷品質」の値(dpi)を揃えていない場合(空白を含む)は途中シートから最後(一番右)のシートのみ生成になる場合があります。

【Microsoft Office Excel のブック全体印刷を行う場合の注意点】

変換ユーティリティから印刷を行う場合

シートごとに、「ページレイアウト」タブの右下の矢印ボタンを押下し、ページ設定画面の「印刷品質」の数値を統一してください。



上記設定後、「変換ユーティリティ」の「一括 PDF 出力」で、ブック全体印刷が可能になります。

上記 dpi 値を操作すると、多少ページのレイアウトが変化するため、
「表示」タブ 「改ページプレビュー」等で微調整を行ってください。

SkyPDF CA EDITION V5

ユーザーズガイド

2015 年 3 月 17 日発行

Published by SKYCOM Corporation.

Printed in Japan

SKY COM[®]